

事業概要

(平成24年度のまとめ)

目 次

I 年次概要	
1 平成24年度の主な動き	1
2 資料・利用	1
II 図書館資料	
1 総資料数・年間収集資料数	2
2 図書	2
(1) 資料数	
(2) 館内閲覧・個人貸出用図書の分類別数	
(3) 視聴覚資料・障害者用資料	
3 逐次刊行物	3
III 利用の状況	
1 開館日数	4
2 入館者数	4
3 登録者数	4
4 個人貸出	4
(1) 貸出者数	
(2) 貸出図書数	
(3) 借受提供	
5 図書館等への貸出（一括貸出を除く。）	5
6 市町村への一括貸出	6
7 調査相談	6
8 対面朗読サービス	6
9 点字・音声資料貸出	7
10 マルチメディア利用	7
11 複写利用	7
12 取寄せ申込みeサービス依頼件数	7
13 ホームページアクセス件数	7
IV 京都府図書館総合目録ネットワーク (K-Libnet) の状況 (平成25年8月1日現在)	8

V	事業その他	
1	連絡協力車の運行	9
	(1) 搬送の内訳	
	(2) 搬送コース	
2	図書館事業等	10
	(1) 読書週間記念講演会等の実施	
	(2) 図書館・読書施設等職員研修の実施	
	(3) 学校支援事業	
	(4) 大学との連携	
	(5) 美術館等他機関との連携	
	(6) 岡崎地域活性化事業との連携	
	(7) 館内見学会の実施	
	(8) 京都府図書館等連絡協議会との連携	
VI	組織及び職員数（平成25年4月1日現在）	12
VII	経費	13
VIII	施設の概要等	13
IX	沿革	14
X	歴代館長	17
	【参考】 京都府立図書館の運営基本方針及び京都府立図書館資料収集方針	18

I 年次概要

1 平成24年度の主な動き

京都府内26市町村すべてを結ぶ京都府総合目録ネットワーク（K-Libnet）の参加館は67館、うち蔵書データ提供館は60館で、そのうち横断検索館は49館で昨年度と同数である。

市町村支援の充実のため毎年行っている市町村図書館・読書施設等職員研修では、平成23年度から開始したキャリアに応じて学べるステップ別研修を実施した。また、地区別研修として3つのテーマを設定し、それぞれ北部・中部・南部会場で実施した。

平成24年8月に「京都府立図書館サービス計画」を策定し、その1年目として、次のさまざまな新規事業に取り組んだ。

まず、子ども読書活動推進を支援するため、京都府図書館等連絡協議会と共催で「第1回子ども読書本のしおりコンテスト」を開催した。

また、従来から行っていた当館所蔵資料を紹介する小展示コーナーや地下1階特設コーナーに加え、「日食に関する本」、「平清盛」、「長寿に学ぶ」など時事の話題や府民が関心を持っているテーマについて、短期間のミニコーナーを年25回実施した。

府民の皆様が図書館をもっと使いこなせるよう、「新聞記事の探し方」、「雑誌記事の探し方」、「法令・判例の探し方」の3つのテーマについて、データベースを含む当館所蔵資料などを活用した調べ方を学んでいただく図書館活用講座を年6回実施した。

岡崎地域活性化の一環として、京都市立芸術大学との連携協力により、エントランスにおける当館所蔵資料の紹介、本にでてくるキャラクターを人形にした作品や進化をテーマに作成した絵本などの学生作品をエントランスで展示したり、当館のシンボルマーク及び和文ロゴタイプを作成した。

さらに、利用者にわかりやすい館内の案内表示・掲示の改善について、エントランス案内板、館内サインの改善を行い、ホームページへのバーチャル館内ツアー掲載を行った。これらの各種取組は、新聞、テレビ、ラジオなどで多数取り上げられた。

2 資料・利用

(1) 資料数

平成24年度中の資料収集は、購入図書、寄贈図書等を25,879冊受け入れ、蔵書数は872,959冊となった。

なお、図書以外に逐次刊行物が、276,601冊相当あり、総計の蔵書数は1,149,560冊である。

(2) 貸出

ア 個人貸出

個人貸出は、総数で延べ89,590人、201,126冊である。

イ 図書館等への貸出

府内の市町村立図書館等への貸出（一括貸出を除く）は20,599冊、他府県の公立図書館等への貸出は753冊であり、総数21,352冊である。

ウ 市町村への一括貸出

府内公立図書館等の図書館活動を支援するための貸出文庫が44,822冊である。

Ⅱ 図書館資料

1 総資料数・年間収集資料数

図書数 872,959 冊、逐次刊行物 276,601 冊 (図書換算数)、総資料数 1,149,560 冊

年間収集資料数 図書・視聴覚資料 25,879 冊 (点)

逐次刊行物 404 タイトル (購入分のみ)

2 図書

(1) 資料数

(単位：冊)

区 分	24 年度受入冊数				24 年度末 図書数	うち 児童書	うち 京都資料	うち 外国語資料	
	購 入	寄 贈	その他	計					
館内閲覧 個人 貸出用	図書資料	13,726	3,521	306	17,553	47,021	21,662	19,221	
	視聴覚資料	291	46	18	355				
	計	14,017	3,567	324	17,908				
市町村支援用	貸出文庫	7,941	30		7,971	89,654	64,980	5	
合 計		21,958	3,597	324	25,879	872,959	112,001	21,662	19,226

(注)外国語資料には、児童書、京都資料の外国語資料を含む。

(2) 館内閲覧・個人貸出用図書の分類別数

(単位：冊、%)

分 類	冊 数	百 分 比
0 総 記	38,759	4.9
1 哲 学	38,960	4.9
2 歴 史	82,124	10.5
3 社 会 科 学	164,456	21.0
4 自 然 科 学	48,178	6.2
5 技 術	55,248	7.1
6 産 業	40,470	5.2
7 芸 術	52,973	6.8
8 言 語	14,338	1.8
9 文 学	153,121	19.5
小 計	688,627	87.9
教 科 書	23,284	3.0
児 童 書	47,021	6.0
そ の 他	24,373	3.1
合 計	783,305	100.0

(3) 視聴覚資料・障害者用資料

視聴覚資料

区 分	24年度末タイトル数 (点数)
CD	638 (779)
CD-ROM	1,367 (1,490)
DVD	1,891 (1,893)
DVD-ROM	293 (293)
ビデオテープ	3,170 (3,181)
カセットテープ	886 (2,709)
マイクロフィルム	125 (7,885)
マイクロフィッシュ	402 (3,730)
デイジー資料	913 (913)
計	9,685 (22,873)

障害者用資料

区 分	24年度末タイトル数 (点数)	摘 要
大 活 字 本	2,863 (2,863)	
点 字 図 書	376 (1,500)	
デイジー資料	913 (913)	「視聴覚資料」の「デイジー資料」の再掲
テ ー プ 資 料	886 (2,709)	「視聴覚資料」の「カセットテープ」の再掲

(注) 「大活字本」以外は、(2) 「館内閲覧・個人貸出用図書」の「その他」の内数

3 逐次刊行物

区 分	新 聞	雑 誌	計
年間購入タイトル数	16	388	404
既存受入タイトル数	105	10,462	10,567

Ⅲ 利用の状況

1 開館日数 286 日

2 入館者数 288,519 人 (1 日平均 1,009 人)

3 登録者数 5,135 人

〈有効登録者数累計 95,551 人 (京都市内 81.6%、その他地域 8.7%、他府県 9.7%)〉

4 個人貸出 (利用者登録した個人への貸出)

(1) 貸出者数 延べ 89,590 人 (1 日平均 313 人)

(2) 貸出図書数 201,126 冊 (1 日平均 703 冊)

内、インターネット貸出待ち登録サービスによる貸出図書数 3,429 冊

(3) 借受提供 (他の図書館等から資料を借り受けて利用者に提供)

(単位：冊)

借 受 先		借 受 冊 数
府 内	市町村立図書館等 (①)	1,484
府 外	国立国会図書館 (②)	71
	他府県立図書館 (③)	662
	他府県内市町村立図書館等 (④)	342
	計	1,075
合 計		2,559

(①) 市町村立図書館等の主な内訳

京都学園大学図書館(116)、精華町立図書館(114)、八幡市立八幡市民図書館(88)、亀岡市立図書館(86)、城陽市立図書館(84)、向日市立図書館(83)、木津川市立中央図書館(81)、長岡京市立図書館(80)、綾部市図書館(64)、宮津市立図書館(61)、大山崎町立中央公民館図書室(51)、宇治市中央図書館(49)、京都市中央図書館(45)、福知山市立図書館中央館(38)、井手町図書館(35)、京丹後市立峰山図書館(35)、京都市醍醐中央図書館(34)、宇治田原町立図書館(33)、木津川市立山城図書館(31)、舞鶴市立西図書館(31)、南丹市立中央図書館(29)、京田辺市立中央図書館(29)、京都市右京中央図書館(29)、木津川市立加茂図書館(27)、久御山町立図書館(24)、与謝野町立図書館野田川分室(24)、舞鶴市立東図書館(22)、京丹後市立あみの図書館(19)、京都市伏見中央図書館(18)、与謝野町立図書館(15)

(2) 国立国会図書館の内訳

東京本館(53)、関西館(16)、国際子ども図書館(2)

(3) 他府県立図書館の主な内訳

滋賀県(166)、大阪府(81)、兵庫県(67)、奈良県(49)、和歌山県(27)、北海道(19)、岡山県(17)、福井県(16)、徳島県(14)、山形県(13)、新潟県(12)、三重県(12)
長崎県(12)、神奈川県(10)

(4) 他府県内市町村立図書館等の主な内訳

大阪市(33)、堺市(27)、茨木市(26)、豊中市(21)、枚方市(19)、高槻市(14)

5 図書館等への貸出(一括貸出を除く)

(単位:冊)

貸 出 先		貸 出 冊 数	摘 要
府 内	市町村立図書館等(※)	20,599	26市町村他
	学校図書室	8,340	府立高校41校他
	計	28,939	うち、学校支援セット貸出5,993冊
府 外	他府県公立図書館・大学等	753	
合 計		29,692	

(※) 市町村立図書館等の内訳

(単位:冊、%)

地 域 区 分	貸 出 冊 数	百 分 比
京都市	2,224	10.8
乙訓地域	2,463	12.0
山城地域	6,415	31.1
南丹地域	2,803	13.6
中丹地域	3,212	15.6
丹後地域	3,388	16.4
府立総合資料館	11	0.1
その他	83	0.4
合 計	20,599	100.0

6 市町村への一括貸出

(単位：冊)

区 分	貸 出 冊 数	摘 要
貸 出 文 庫	44,822	

貸出文庫の内訳

(単位：冊)

教育委員会名	貸 出 冊 数	教育委員会名	貸 出 冊 数	教育委員会名	貸 出 冊 数
向 日 市	985	大 山 崎 町	1,533	木 津 川 市	14
相 楽 東 部 広 域 連 合	3,367	南 丹 市	6,122	福 知 山 市	7,081
綾 部 市	305	宮 津 市	11,443	与 謝 野 町	6,000
伊 根 町	5,657	京 丹 後 市	2,315		

7 調査相談

(単位：件)

区 分	相 談 件 数	摘 要
調 査 相 談	18,300	
マルチメディア相談	142	マルチメディア閲覧室関係での所蔵調査を含む。
市町村からの調査相談	87	
合 計	18,529	

8 対面朗読サービス

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延利用者数	12	11	9	8	7	8	8	8	8	8	9	9	105
実施時間	24	22	18	16	14	16	16	16	16	16	18	18	210

9 点字・音声資料貸出

(単位：点)

資料区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
テープ					4								4
C D	12	10	10	10	12	50	44	17	17	24	14	10	230
デイジー	15	16	13	13	18	3	5	10	17	2	0	0	112
合計	27	26	23	23	34	53	49	27	34	26	14	10	346

10 マルチメディア利用

(単位：人)

利用区分	年間利用者数	1日平均
インターネット端末	25,273	88
CD-ROM 端末	267	1
AV ブース利用	6,092	21
マイクロフィルム	928	3
合計	32,560	

11 複写利用

(単位：枚)

区分	利用枚数	摘要
図書資料	254,375	白黒 247,729、カラー 6,646
CD-ROM、外部 DB	6,946	貴重書 DB を含む
マイクロフィルム	9,640	
合計	270,961	

12 取寄せ申込み e サービス依頼件数 2,407 件

13 ホームページアクセス数 360,675 件

IV 京都府図書館総合目録ネットワーク
(K-Libnet) の状況 (25年8月1日現在)

図書館・読書施設名	データ提供館		検索館 (データ未提供)
	分散型(横断検索)参加館	集中型参加館	
府立図書館	○		
府立総合資料館	○		
京都市	中央図書館	○	
	右京中央図書館	○	
	伏見中央図書館	○	
	醍醐中央図書館	○	
	北図書館	○	
	左京図書館	○	
	岩倉図書館	○	
	東山図書館	○	
	山科図書館	○	
	下京図書館	○	
	南図書館	○	
	吉祥院図書館	○	
	久世ふれあいセンター図書館	○	
	西京図書館	○	
	洛西図書館	○	
	向島図書館	○	
	醍醐図書館	○	
	久我のもり図書館	○	
子育て支援総合センター こどもみらい館子育て図書館	○		
移動図書館	○		
向日市立図書館	○		
長岡京市立図書館	○		
大山崎町立中央公民館図書室		○	30,825 件
宇治市中央図書館	○		
城陽市立図書館	○		
久御山町立図書館		○	125,539 件
八幡市立八幡市民図書館	○		
京田辺市立中央図書館	○		
井手町図書館	○		
宇治田原町立図書館		○	76,875 件
木津川市	市立中央図書館	○	123,615 件
	市立加茂図書館	○	62,099 件
	市立山城図書館	○	85,136 件
精華町立図書館	○		
笠置町中央公民館図書室			○
和東町体験交流センター図書室			○
南山城村図書室			○
亀岡市立図書館	○		
南丹市	市立中央図書館	○	
	八木図書室	○	
	日吉図書室	○	
	美山図書室	○	
京丹波町	町立中央公民館図書室		○
	瑞穂支所瑞穂教育分室	○	24,913 件
	和知ふれあいセンター図書室		○
綾部市図書館	○		
福知山市	図書館中央館	○	
	市立図書館三和分館	○	
	市立図書館夜久野分館	○	
	市立図書館大江分館	○	
舞鶴市	市立東図書館	○	97,441 件
	市立西図書館	○	92,241 件
宮津市立図書館		○	107,428 件
与謝野町	町立図書館	○	
	町立図書館野田川分室	○	
	町立図書館加悦分室	○	
伊根町教育委員会図書室			○
京丹後市	市立峰山図書館	○	
	市立図書館大宮図書室	○	
	市立図書館弥栄図書室	○	
	市立あみの図書館	○	
	市立図書館丹後図書室	○	
	市立図書館久美浜図書室	○	
京都ライトハウス情報ステーション			○
京都学園大学図書館		○	173,618 件
合 計	49 館	11 館	999,730 件
	60館(22市町1大学)		7 館

V 事業その他

1 連絡協力車の運行

府内の各図書館・読書施設との資料の相互貸借、情報交換、技術指導・助言、資料の収集や、府立高校との機関貸出図書等の搬送を行うため、次の5コースにより26市町村62施設(21府立高校、41図書館・読書施設)へ毎週1回(一部3箇月に1回)、合計245回の運行を実施した。

(1) 搬送の内訳

(単位：冊)

区 分	搬 送 冊 数
府立図書館から市町村への搬送	20,599
市町村から府立図書館への搬送	1,484
市町村と市町村との間の搬送	27,206
計	49,289
寄贈図書の搬送	735
合 計	50,024

(2) 搬送コース

コース名	順 路
A コース	京都府立図書館→京都学園大学図書館→亀岡市立図書館→南丹高校(→南丹市八木図書館)→南丹市立中央図書館→農芸高校→京丹波町中央公民館図書室(→南丹市日吉図書館→京丹波町和知ふれあいセンター図書室→南丹市美山図書館)→北桑田高校→盲学校→京都ライトハウス情報ステーション→京都府立総合資料館→京都府立図書館
B コース	京都府立図書館→洛水高校→八幡市立八幡市民図書館→京田辺市立中央図書館→精華町立図書館→国立国会図書館関西館→木津川市立中央図書館→和東町体験交流センター図書室→南山城村図書館→笠置町中央公民館図書室→京都すばる高校→桃山高校→京都府立図書館
C コース	京都府立図書館→東稜高校→東宇治高校→宇治市中央図書館→宇治田原町立図書館→井手町図書館→城陽市立図書館→久御山町立図書館→大山崎町立中央公民館図書室→長岡京市立図書館→向日市立図書館→桂高校→京都市中央図書館→京都府立図書館
D コース	京都府立図書館→綾部市図書館→舞鶴市立西図書館→東舞鶴高校→大江高校→福知山市立図書館中央館→工業高校→京都府立図書館
E コース	① 京都府立図書館→宮津市立図書館→与謝野町立図書館(→与謝野町立図書館加悦分室)→加悦谷高校(→与謝野町立図書館野田川分室)→伊根町ほっと館図書情報室(→京丹後市立図書館丹後図書室→京丹後市立図書館弥栄図書室)→峰山高校弥栄分校(→京丹後市立図書館大宮図書室→京丹後市立図書館久美浜図書室)→久美浜高校→京丹後市立峰山図書館 ② →網野高校→京丹後市立あみの図書館→洛西高校→北嵯峨高校→嵯峨野高校→北稜高校→京都府立図書館

2 図書館事業等

(1) 読書週間記念講演会等の実施

例年京都府立総合資料館と連携して開催している古典の日・読書週間記念講演会は、11月4日に小倉百人一首殿堂時雨殿学芸員の東浦由高氏を招き、55名の参加を得て「百人一首の基本の『き』」と題してお話をいただいた。併せて、講演に関連した当館所蔵のブックリストを配付し、江戸時代などに発行された「百人一首」に関連した古典籍を展示した。

また、府立医科大学附属図書館との連携事業として、12月1日に京都府立医科大学附属図書館長・総合情報センター長・大学院医学研究科分子病態病理学教授である伏木信次氏を講師に迎え、「『若い』と脳の健康～いつまでも生き生きと若々しく～」を開催し、111名の参加を得た。

さらに、京都大学の研究者等が運営する井戸端サイエンス工房と共催で、新たな本との出会いを体験する図書館ならではのサイエンスイベントを、7月は「暦の本棚をつくろう!」、1月は「境界に遊ぶ」と題して実施し、合計53名の参加があった。

(2) 図書館・読書施設等職員研修の実施

ステップ別研修として、図書館業務の初任者研修を5月30日、初級者研修を6月22日、中級者研修を12月12日に実施し、受講者には修了証を発行した。また、出前研修として、「アニメーション研修【前編】」、「アニメーション研修【後編】」、「科学読み物に関する講習会」をそれぞれ北部・中部・南部で実施した。合計で延べ186名の参加があった。

(3) 学校支援事業

府立京都すばる高等学校ビジネス探求科の3年生が5月15日に、2年生が6月6日に、当館所蔵資料を活用したフィールドワークを行った。また、京都文教短期大学附属小学校3年生、京都府立北桑田高等学校2年生の社会見学に館内見学を活用いただいた。

学校における調べ学習を支援する「学校支援セット貸出」については、学校の要望を取り入れながら、「エネルギー」などテーマを拡大し、セットの複本も増やした。また、小中学校版、高校版セットどちらも校種を問わず借りられるようにし、利用促進を図った。

(4) 大学との連携

京都市立芸術大学大学院生が当館の蔵書を活用して行った研究成果を、「近代日本 絵本挿絵の世界～京都府立図書館の蔵書より～」と題し、エントラスにて9月28日から12月26日までパネル展示を行った。

また、同大学デザイン科の2年生が、小説の登場人物や空想の生物などをイメージし、立体化した人形を1月5日から2月26日までエントラスにて展示した。

さらに、3月9日から3月27日には、同大学美術学部ビジュアルデザイン専攻と、フランス国立パリ高等装飾美術学校イマージュアンプリメ専攻の共同授業で制作された、日仏の学生のオリジナル絵本作品「進化のものがたり」の展示を行った。

なお、京都市立芸術大学との連携の一環として、同大学ギャラリー@KCUA（アクア）での展示をより深く楽しんでいただけるよう展示内容に関連したブックリストを10回にわたり作成し、相互で配布した。

そのほか、1月9日には、京都教育大学生が授業の一環として教科書の記述内容の変遷について、当館所蔵の教科書コレクションを活用し研究を行った。

(5) 美術館等他機関との連携

京都市美術館で8月25日から11月25日まで開催された「京の画塾細見」と連携し、「京都府画学校と京都画壇」小展示と図書コーナーの設置、京都国立近代美術館で10月31日から12月24日まで開催された企画展「日本の映画ポスター芸術」と連携し「京都の映画」に関する図書コーナー設置

を行い、それぞれ当館所蔵ブックリストを作成し配架いただいた。

京都文化博物館とは、「平清盛」、「世界遺産ヴェネツィア展」に関連して作成したブックリストを各展覧会で配布いただいた。「世界遺産」のブックリストは、京都府立総合資料館で開催された「京都の世界遺産」の企画展や「明日の京都 文化遺産プラットフォーム」が開催した世界遺産条約40周年記念シンポジウムでも配布した。(合計650枚)

(6) 岡崎地域活性化事業との連携

岡崎地域活性化事業との連携として、10月26日から28日に開催された「岡崎ときあかり〜あかりとアートのプロムナード2012」において、当館を「プロジェクション・マッピング」の舞台として提供した。また、「岡崎さくら・わかば回廊十石舟めぐり」においては、「桜」の図書コーナー設置と関連ブックリストを作成した。ブックリストについては、京都府立植物園や京都府庁旧本館で開催された「観桜祭」でも配布した。

(7) 館内見学会の実施

府立図書館の機能や業務を知っていただくため、毎月第3水曜日に「館内見学会」を開催し、延べ181名の方に参加いただいた。また、個別に対応した館内見学会では、滋賀文教短期大学、京都華頂大学、大阪産業大学、福島の高校生等、延べ100名の方が参加された。

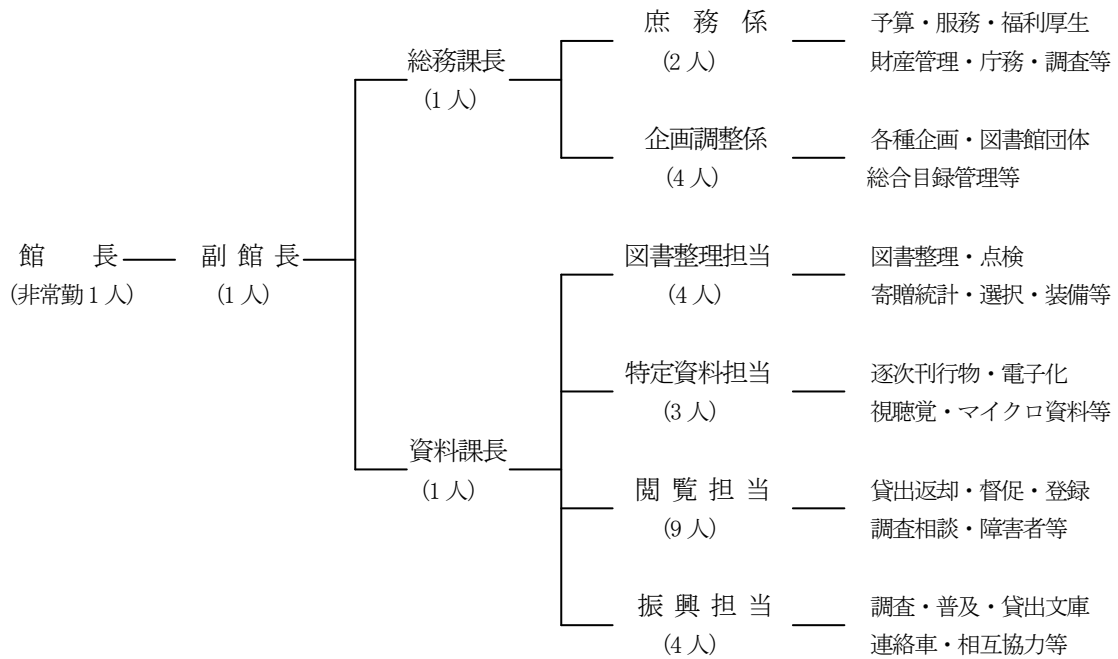
(8) 京都府図書館等連絡協議会との連携

当館が事務局となっている京都府図書館等連絡協議会と京都府との共催で、子どもの読書活動を推進する取組として、今年度から「子ども読書本のしおりコンテスト」を実施した。第1回として、8,500点を超える応募があり、10月28日に表彰式及び受賞作品の展示を行うとともに、最優秀作品2点をしおりにして、府内公共図書館、各学校、書店商業組合を通じて配布した。また、府内18市町村29会場で平成24年10月30日から平成25年10月29日まで巡回展示を行っている。

京都府図書館連絡協議会が事務局となっている第21回京都図書館大会は、開館10周年を迎えた国立国会図書館関西館を会場に、「図書館のPR力を高める 図書館の魅せ方」をテーマに開催した。

VI 組織及び職員数 (平成 25 年 4 月 1 日現在)

常勤職員 29 人、非常勤職員 19 人 (館長 1 人・再任用 4 人・嘱託 12 人・臨時職員 2 人)



VII 経 費

(単位：千円)

科 目	事 項	金 額	
図 書 館 費	人 件 費	277,884	
	資 料 費	図 書	52,276
		逐次刊行物	7,000
		計	59,276
	そ の 他	158,427	
	計	495,587	
事 務 局 費	人 件 費	4,300	
	そ の 他	12	
	計	4,312	
合 計		499,899	

VIII 施設の概要等

所 在 地 等	〒606-8343 京都市左京区岡崎成勝寺町9番地 TEL 075-762-4655 FAX 075-762-4653 ホームページ http://www.library.pref.kyoto.jp/
開 館	平成13年5月11日(建替による開館、府立図書館設置は明治31年)
主たる構造	鉄骨鉄筋コンクリート造
階 数	地上4階地下2階
敷地面積	3,740 m ²
延床面積	7,478 m ² (地下2階2,296 m ² 、地下1階2,049 m ² 、1階1,129 m ² 、2階746 m ² 、3階701 m ² 、4階557 m ²)
建 築 費	617,415万円(外構工事・設備・家具等を含む)
利用者用端末	OPAC22台、CD-ROM閲覧端末2台、データベース閲覧端末6台、新聞記事データベース閲覧端末5台、インターネット閲覧端末19台、貴重書データベース閲覧端末2台、映像ブース8台、オーディオブース4台
一般開架	1,710 m ² 。10万冊の開架が可能
書 庫	1,776 m ² 。自動化書庫内の10,509個のコンテナに約40万冊の図書収蔵が可能。閉架書庫内の集密書庫は大半が積層であり、28,284棚に約100万冊の図書収蔵が可能。
開館時間	火曜日～金曜日 午前9時30分～午後7時 土・日曜日、祝日 午前9時30分～午後5時
休 館 日	<ul style="list-style-type: none"> ・月曜日(祝日及び振替休日は開館、翌日が休館) ・毎月第4木曜日(祝日は開館) ・年末年始(12月28日～翌年1月4日) ・特別整理期間

IX 沿革

明治31年 (1898) 4月	府立京都図書館御苑内創立	昭和26年 (1951) 4月	上京分館開館 (北区紫郊会館内、昭和31年5月 (桜谷文庫内) 移転、同51年5月閉館)
" 6月	業務開始	" 9月	本館大閲覧室屋根修理着工休館
33年 (1900)	夜間開館開始	" 10月	本館蔵書一部知恩院倉庫に別置
36年 (1903) 10月	巡回図書館 (貸出文庫) 制度開始 (昭和25年3月廃止)	" 11月	本館大閲覧室安全開架式を実施
38年 (1905) 4月	児童室開設 (大正14年3月閉鎖)	" 12月	本館新体制で開館
39年 (1906) 6月	館外貸与規則制定告示	27年 (1952) 6月	本館読書相談係設置
" 11月	新館起工式	" 7月	園部地方分館 (園部町立図書館内、昭和41年11月閉館)、北桑田地方分館 (京北町下中、昭和54年8月 (京北農業協同組合弓削支所内) 仮移転、同55年3月閉館) 及び木津地方分館開館 (旧役場内、昭和29年7月 (木津小学校内)、同38年5月 (町民センター内) 移転、同50年3月閉館)
42年 (1909) 2月	新館竣工	28年 (1953) 4月	本館月曜日休館を実施
" 3月	京都府立京都図書館規則告示	29年 (1954) 2月	伏見分館新築工事着工
" 4月	新館開館	" 9月	京都府立図書館「善本目録」作製
大正 8年 (1919) 1月	本館図書分類目録編纂に着手	30年 (1955) 9月	青年学級文庫実施
11年 (1922) 4月	貸出文庫を増設	32年 (1957) 6月	中京分館 (河原町分館改称) 開館 (烏丸庁舎内、昭和40年1月 (京一商同窓会館) 仮移転、同40年11月 (京都府中京庁舎内) 移転、平成13年3月閉館)
昭和 3年 (1928) 3月	帯出規程告示	35年 (1960) 10月	中京分館館外貸出実施
" 4月	個人貸出実施	38年 (1963) 3月	本館読書相談係・学生自由閲覧室・貸出文庫閉鎖 蔵書の一部を府立総合資料館へ移管
" 6月	和漢図書分類目録分類表12冊作製	" 11月	本館 日曜・土曜午後・夜間を休館
8年 (1933) 10月	京都府中央図書館に指定	" 12月	児童室 土・日曜休室
16年 (1941) 5月	児童室復活開室 (昭和23年4月元貴賓室に移転)	39年 (1964) 1月	本館外装改修工事
22年 (1947) 8月	館外貸出廃止	" 5月	本館夜間・土曜午後再開 (9時まで) 貸出室設置 児童室館外貸出実施土曜日開室 伏見分館館外貸出実施
23年 (1948) 9月	読書ルーム開設 (河原町丸善京都店地下)	" 7月	市内分館 日曜日休館を実施
24年 (1949) 4月	読書相談開始	40年 (1965) 7月	児童室に母親文庫設置
" 6月	河原町分館開館 (河原町丸善京都店地下、昭和31年9月閉館)	" 9月	府教育委員会基本規則一部改正 教育庁係等設置規程一部改正により図書館に課制実施
25年 (1950) 2月	伏見分館開館 (伏見信用金庫2階、昭和29年7月移転、同63年3月閉館)		
" 6月	宮津地方分館開館 (宮津町役場内、昭和28年4月 (宮津市立図書館内)、同32年10月 (労働セツルメント内)、同39年5月 (宮津市立図書館内)、同46年8月 (新宮津市立図書館内) 移転、平成9年3月閉館)		
" 7月	綾部地方分館 (綾部市立図書館内、昭和38年7月 (市民センター内) 移転、同41年9月閉館) 及び峰山地方分館開館 (丹後地方教育局内、昭和30年6月 (丹波公民館内)、同37年9月 (丹波小学校内)、同55年4月 (峰山町中央公民館内) 移転、平成9年3月閉館)		
" 8月	学生自由閲覧室新設		
" 11月	京都府立図書館設置条例公布 (条例第62号)		

昭和41年(1966)11月	自動車文庫命名式(蜷川知事「あゆみ号」と命名) 移動図書館事業開始(平成2年12月終了)	昭和61年(1986)12月	昭和61年度全国公共図書館参考事務研究集会開催
42年(1967)7月	本館修繕工事	62年(1987)10月	国立国会図書館とオンライン実施
〃 9月	貸出室移転再開	63年(1988)3月	「京都府の公共図書館 1987年版」刊行
44年(1969)12月	本館夜間閉館時間(7時)に変更	平成元年(1989)10月	図書館資料広域貸出事業開始 「京都府公共図書館等所蔵雑誌・新聞総合目録」京都府図書館等連絡協議会と共同刊行
46年(1971)8月	本館貸出室の図書を閲覧室に統合 第2閲覧室開室 貸出方式をブラウン方式に切替	2年(1990)3月	「点字・録音図書目録(点字版)」刊行
48年(1973)4月	上京分館館外貸出実施	〃 4月	連絡協力車事業本格実施
50年(1975)3月	身体障害者用便所・スロープ新設	〃 6月	機構改革により本館は4課組織に
〃 5月	本館(閲覧室・中央カウンター・新聞雑誌室開設)内装工事 本館閲覧室を完全開架式に切替	3年(1991)3月	本館模様替内装工事(受付カウンター・新聞雑誌室等配置換)
51年(1976)4月	本館閲覧用目録作成に着手	〃 6月	マイクロリーダープリンターのサービス開始
〃 6月	京都府図書館等連絡協議会発足、府立図書館に事務局を置く	〃 8月	「連絡協力車だより」発刊
〃 7月	児童室改修工事	4年(1992)9月	毎月第2土曜日 児童室 午前9時半から開室開始
53年(1978)3月	本館改修工事(外装・屋根葺替・玄関・防災設備) 本館閲覧用目録整備完了	5年(1993)3月	「京都府の公共図書館 1992年版」刊行
54年(1979)3月	本館書庫の改修工事	6年(1994)3月	「京都府公共図書館等所蔵雑誌・新聞総合目録」京都府図書館等連絡協議会、京都府立総合資料館と共同刊行
〃 4月	国会図書館からの図書貸出制度発足 本館自習室を閉鎖	7年(1995)2月	阪神・淡路大震災(1月17日)による本館一部被害の補修・補強工事实施
〃 11月	「専門情報機関要覧」刊行	〃 5月	本館老朽化による安全対策のため館内模様替(事務室の1階への移動等)実施。5月1日から2ヵ月間臨時休館(7月3日再開館)
56年(1981)9月	移動図書館用電動集密書架設置	〃 8月	連絡協力車北部コース月2回に運行を拡充。これにより府内全ての市町村へ月2回運行となる
〃 12月	伏見分館改修工事	〃 9月	一般図書室の天井一部損傷による補修工事实施。9月18日から臨時休館(10月16日再開館)
57年(1982)7月	障害者サービス(対面朗読)実施	〃 12月	京都府社会教育委員会議が、京都府教育委員会教育長に「生涯学習社会を展望する京都府の図書館の在り方について(提言)」を提出する
58年(1983)2月	生涯教育推進事業として読書推進講座実施	8年(1996)3月	平成8年度当初予算に府立図書館整備費を計上
〃 3月	「京都府の公共図書館」刊行 伏見分館ブックポスト設置	〃 9月	新府立図書館建設基本計画の概要を発表
〃 6月	図書館協力貸出本格実施		
〃 7月	新着図書案内発行		
59年(1984)12月	連絡協力車試験的運行開始(2コース)		
60年(1985)7月	国立国会図書館とのオンライン利用実験実施		
61年(1986)8月	京都府教育委員会教育長から「生涯学習社会を展望する京都府の図書館のあり方」を京都府社会教育委員会議へ諮問		

平成8年 (1996) 9月	9月補正予算に文化財的観点から壁面(東側前面)を保存しながら、新築整備するための基本設計費等を計上	平成 13年 (2001) 5月	京都府図書館総合目録ネットワークのインターネット発信開始(10日) 連絡協力車の毎週運行を開始(16日)
9年 (1997) 3月	平成9年度当初予算に実施設計費等を計上	" 6月	京都府図書館総合目録ネットワーク運用開始(1日)
" 4月	新館整備のため本館を休館(9.4.1~)	14年 (2002) 4月	「子ども読書絵てがみコンテスト」を実施
" 9月	本館 仮施設(京都市下京区、旧中小企業総合指導所)へ移転完了	15年 (2003) 2月	館内完全分煙の実施
10年 (1998) 3月	府立図書館解体工事及び壁面(東側前面)保存工事完了 平成10年度当初予算に、新館建設工事費等を計上	18年 (2006) 4月	インターネット貸出待ち登録サービスを開始
" 7月	総合資料館蔵書との一体的データ化作業開始	" 5月	電話による貸出延長サービスを開始
" 9月	本館事務室の再移転(旧中小企業総合指導所から隣接の旧女子高等技術専門校へ)	" 12月	京都府図書館総合目録ネットワークに、府内全市町村が参加
" 11月	新府立図書館新築工事起工式	19年 (2007) 3月	取寄せ申込みeサービス開始
11年 (1999) 2月	平成10年度近畿地区公共図書館研修の開催	20年 (2008)	源氏物語千年紀記念事業(小展示・パネル展等)開催
" 3月	平成11年度当初予算に新築工事費等を計上	" 5月	インターネット貸出延長サービス開始
" 6月	「日本目録規則1987年版改訂版」「日本十進分類法新訂9版」「日本著者記号表改訂版」を採用	" 9月	学校支援セット貸出開始
12年 (2000) 3月	平成12年度当初予算に新築工事費等を計上	21年 (2009) 3月	所蔵音声資料の音声目録CD-ROM(デジ版)を作成、配布
" 5月	国立国会図書館総合目録ネットワークに参加	" 6月	府立図書館「岡崎」100周年記念事業(小展示・パネル展等)開催(～平成22年3月)
" 10月	新館竣工	" 9月	府立図書館「岡崎」100周年記念パンフレットを作成
" 11月	仮施設から新館に移転、開館準備作業本格化 「京都府図書館総合目録ネットワーク運営規程」を施行(1日)	" 11月	国立国会図書館関西館との連携(連絡協力車の運行)
13年 (2001) 2月	仮施設及び府立総合資料館からの図書資料移転終了	22年 (2010) 4月	学校支援セット貸出小中用CD-ROM目録を作成、配付
" 4月	府教育委員会基本規則を一部改正して図書館の職を整備し、教育庁係等設置規程を一部改正して2課制(総務課:2係、資料課:4担当)を施行(1日) 「京都府立図書館の管理運営に関する規則」(平成13年京都府教育委員会規則第1号)を施行(1日)	" 9月	京都府立医科大学附属図書館と連携した「府民講演会」を開催
" 5月	「京都府立図書館個人貸出規程」等、各種規程を施行(7日) 開館式(10日) 一般開館(11日)	" 10月	新着図書お知らせサービス開始
		23年 (2011) 4月	祝日開館の実施 学校支援ポータルサイトを開設
		" 8月	館内全面禁煙の実施
		" 12月	京都大学研究者等と連携したサイエンスイベントを開催
		24年 (2012) 4月	子ども読書本のしおりコンテストを実施
		" 8月	府立図書館サービス計画を作成
		" 11月	図書館活用講座を実施
		25年 (2013) 3月	府立図書館のシンボルマークと和文ロゴタイプを作成

X 歴代館長

氏名	在職期間
三宅 五郎三郎	明治31年4月 ～ 明治33年3月
原田 千之助	明治33年3月 ～ 明治33年12月
中道 貫一 (館長心得)	明治34年1月 ～ 明治34年2月
三宅 五郎三郎	明治34年4月 ～ 明治37年3月
湯浅 吉郎	明治37年3月 ～ 大正5年5月
北畠 貞顕	大正5年10月 ～ 昭和15年11月
内藤 乾吉	昭和15年11月 ～ 昭和22年7月
西村 精一	昭和22年7月 ～ 昭和38年10月
相馬 利雄	昭和38年10月 ～ 昭和45年8月
岩崎 彰之助	昭和45年8月 ～ 昭和47年4月
吉川 博明	昭和47年4月 ～ 昭和48年6月
庄林 二三雄	昭和48年6月 ～ 昭和49年4月
宮本 英男	昭和49年4月 ～ 昭和50年3月
布村 忠雄	昭和50年4月 ～ 昭和55年4月
長谷川 啓司	昭和55年4月 ～ 昭和56年4月
浜辺 一彦	昭和56年4月 ～ 平成元年7月
上田 将 (本庁指導部長兼任)	平成元年7月 ～ 平成元年9月
林 芳男	平成元年9月 ～ 平成4年4月
柴田 實	平成4年4月 ～ 平成6年5月
高木 多喜男	平成6年6月 ～ 平成8年3月
五十嵐 一郎	平成8年4月 ～ 平成10年3月
西山 隆史 (本庁指導部長兼任)	平成10年4月 ～ 平成10年5月
小山 雄一	平成10年6月 ～ 平成13年3月
中里 隆憲	平成13年4月 ～ 平成16年3月
津守 俊一	平成16年4月 ～ 平成19年3月
松田 定	平成19年4月 ～ 平成21年3月
勝間 喜一郎	平成21年4月 ～ 平成24年3月
宮野 文穂	平成24年4月 ～

京都府立図書館の運営基本方針及び京都府立図書館資料収集方針

1 運営基本方針（平成24年8月改定）

- (1) 府内の図書館サービスの中核的図書館として、図書館資料・情報の総合的な活用を図り、府全体の図書館サービスの充実を図ります。（府内の図書館サービスの中核的図書館）
 - ①市町村立図書館等との役割分担を踏まえた資料・情報の収集を行い、府内公共図書館の資料保存センターとしての役割を果たします。
 - ②市町村立図書館等と連携し、京都府図書館総合目録ネットワークの活用などにより、府内全域に均質な図書館サービスを提供します。
 - ③市町村立図書館等が行う図書館サービス充実に向けた取組を支援します。
 - ④市町村立図書館等や学校等と連携し、子どもの読書活動の推進を支援します。
- (2) 府民の暮らしや地域の発展に役立つ情報を提供し、府民の様々な活動を支援します。（府民の多様な活動を支援する図書館）
 - ①府民の調査研究に役立つ資料・情報を提供します。
 - ②府民の課題解決を支援するため、的確なレファレンス（調査相談）サービスを提供します。
 - ③多様化する府民ニーズに応える図書館サービスを提供します。
 - ④府民にとって利用しやすい施設づくりを進めます。
- (3) 情報通信技術を積極的に活用し、情報化の進展に対応した高度な情報サービスを提供します。（情報化社会の進展に対応する図書館）
 - ①情報通信技術の発展に対応した情報サービスを提供します。
 - ②電子ネットワークを活用し、積極的に情報を発信します。
- (4) 京都の文化の創造と活性化に寄与するため、関係機関と連携して、京都府立図書館の特色を生かした情報を発信します。（京都から情報を発信する図書館）
 - ①新施設の整備を進めている京都府立総合資料館等との連携により、京都らしさのある資料・情報を発信します。

2 京都府立図書館資料収集方針

京都府立図書館は、府民の調査研究や生涯学習を支援する府内の図書館ネットワークの中核的図書館として、その役割を果たすための資料を収集します。

- (1) 府民の調査研究の拠点、及び生涯学習を支援する図書館としてふさわしい資料を収集します。
 - ①各分野の基本図書、研究書、専門書、資料集、逐次刊行物を収集します。
 - ②調査相談機能を果たすための参考図書等を収集します。
 - ③各分野の調査研究、生涯学習に役立つニューメディア資料を収集します。
- (2) 府内図書館ネットワークのセンターとして、府内の市町村図書館活動振興のための資料を収集します。
 - ①市町村の図書館では揃えにくい専門書・研究書・資料集等を、府内の図書館からのリクエストを踏まえ収集します。
 - ②市町村図書館からのリクエストによる一般書は、他の市町村図書館に所蔵されていないとき、また相互協力による資料提供が難しいときは収集します。
- (3) 京都府立総合資料館が京都資料、歴史資料、美術資料、官庁資料に重点をおいた収集をしていることに鑑み、両館の機能を踏まえて資料を収集します。
 - ①京都関係資料は、市販された資料を中心に収集します。
 - ②歴史、美術分野の資料は、府民の生涯学習及び市町村図書館を支援する上で最低限必要となる基本図書及び参考図書を中心に収集します。
 - ③官公庁出版物は、市販される年次刊行物を中心に収集します。

事業概要 (平成24年度のまとめ)

平成25年(2013)9月発行

発行者 京 都 府 立 図 書 館

〒606-8343 京都市左京区岡崎成勝寺町9

TEL (075) 762-4655 (代)

FAX (075) 762-4653

URL <http://www.library.pref.kyoto.jp/>

印 刷 株 式 会 社 大 気 堂

TEL (075) 361-2321

